

令和九年度採用

山梨県公立学校教員選考検査

高等学校・国語 問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 一 この問題は四問、六ページで、時間は六十分です。
- 二 解答用紙は、別紙で配付します。「始め」の合図で始めてください。
- 三 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 四 「やめ」の合図があつたら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 五 解答用紙を持ち出してはいけません。

高等学校 国語

一 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

著作者の権利保護のため掲載を省略

著作者の権利保護のため掲載を省略

出典は、直江清隆「AIの作り出す無知」（『無知学への招待——知らないこと』を問い直す）（明石書店）二〇二五年二月）なお、一部省略およびルビを施した箇所がある。

語注

※1 ステークホルダ……企業をとりまく利害関係者。

※2 ディープラーニング……深層学習。人間の脳の認知機能を模倣して、データから自動的に特徴を学習する、AI（人工知能）を実現するための手法の一つ。

問一 傍線部②「コウミョウ」、④「ソチ」のカタカナを漢字に直せ。

問二 傍線部①「バイアスの問題」とあるが、ここでの「バイアス」について説明した次の文の空欄ア、イに入る言葉として適当なものを、本文中からいずれも二字で抜き出して答えよ。

AIの用いるデータの ア が、人々の考え方や判断に影響し、結果として イ を生じさせてしまうこと。

問三 次の一文は本文の一部である。この一文があるべき箇所として最も適当なものを本文中の【A】から【D】より一つ選び、記号で答えよ。

著作者の権利保護のため掲載を省略

問四 傍線部③「モデレーションそのものの公正さ、公平さが問われる」とあるが、それはなぜか。四十字以上、五十字以内で答えよ。

問五 傍線部⑤「根本的な『無知』」、傍線部⑦「AIが作り出す無知」とはそれぞれどのような状態か、説明せよ。

問六 傍線部⑥「しかし、データ収集がどのようなフレーミングでなされているかを知ることには十分に意味がある」とあるが、どのような点に意味があるのか。本文中の言葉を用いて指摘せよ。

問七 傍線部⑧「現実を覆い隠しあるいは現実の一部となるという可能性をもっている点でイデオロギーと類似している」とはどういうことか。五十字以上、六十字以内で説明せよ。

二

次の「現代の国語」の単元の指導計画の一部を読んで、下の問いに答えよ。

「現代の国語」単元の指導計画

1. 単元名 [①]
2. 単元の目標
- (1) 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。〔知識及び技能〕
 - (2) 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕
 - (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕
3. 本単元における言語活動 [②]

(1) 上記の「思考力・判断力・表現力等」の目標を設定する領域名を答えよ。

(2) あなたならどのような単元を設定するか。①に入る単元名を答えよ。

(3) あなたなら本単元でどのような言語活動②を設定するか。活動内容を具体的に記せ。

三

次の文章は、主人公（少将氏忠^{うしんたけ}）が遣唐使となり中国へ渡った後、唐の御門^{みかど}や母后に仕える生活の中で、理想の女性に巡り会っても、その正体がわからないまま帰国が近づいているある日の様子を描いている。これを読んで後の問いに答えよ。

著作者の権利保護のため掲載を省略

出典は「松浦宮物語」『新編 日本古典文学全集 40 松浦宮物語 無名草紙』
小学館）。ただし、表記を改めた箇所がある。

語注

- ※1 しげき事業……宮中における繁多な仕事。
 ※2 なづさひ……慣れ親しみ。
 ※3 遠けれどあはれに御覽ぜらる……ここでの主語は母后。
 ※4 違ふところなきしも……思いを寄せる正体不明の女性とくらべている。

問一 傍線部①「卯月」について、次の各問いに答えよ。

- (1) 漢字の読み方を現代仮名遣いで答えよ。
 (2) 「卯月」が表す月を、漢数字で答えよ。

問二 傍線部②「気色」の読み方を現代仮名遣いで答えよ。

問三 傍線部③「仕うまつりさしはべりなむ恨み」を、文脈上必要な言葉を補って現代語訳せよ。

問四 傍線部④「深う思うたまへられはべれど」について説明したものとして最も適当なものを次のア～オの中から一つ選び記号で答えよ。

- ア 用言の活用語尾が音便化している箇所が全部で三つあり、そのうち二つがウ音便である。
 イ 「たまへられ」は、尊敬を表す動詞「たまふ」に尊敬の助動詞「らる」がついた二重敬語である。
 ウ 「たまへ」は作者から御門への、「はべれ」は氏忠から母后への敬意を、それぞれ表している。
 エ 「ど」は逆接を表す助詞であり、氏忠の深い思いが御門や母后に届いていないことを暗示している。
 オ 品詞分解をすると六つの語に分けられ、謙譲と丁寧の意を表わす補助動詞が一つずつ使われている。

問五 傍線部⑤「聞こえ出で」、⑨「御覧じしのばれず」、⑩「おはします」について、それぞれの主語を、次のア～ウの中から一つ選び、記号で答えよ。

- ア 御門 イ 氏忠 ウ 母后

問六 傍線部⑥「なかなか」、⑧「なのめに」、⑪「あぢきなき」の本文中での意味を答えよ。

問七 文中で詠まれた歌について説明したものとして、最も適当なものを次のア～エの中から一つ選び記号で答えよ。

- ア 母后から、冷たい秋風の実感に重ね合わせ、望みが絶たれた空しい人生の終わりを予感させる歌を詠みかけられた氏忠は、「故郷へ帰る私の舟に共に乗れなくても、あなたの魂が旅立つ時には、きっと秋風が日本へと道案内をするでしょう」という歌を返した。

- イ 御門から、冷たい秋風の実感に重ね合わせ、非情な別れを選択した冷淡さを非難する歌を詠みかけられた氏忠は、「私の乗る舟が遠ざかり、跡形もなくなってしまう別れは確かなものであるけれど、互いの思いを届ける方法はきつとあるはずです」という歌を返した。

- ウ 母后から、秋のものの寂しい季節と重ね合わせ、間もなくやってくる別れを痛切に惜しみ悲しむ歌を詠みかけられた氏忠は、「故郷へ向かう私の舟の航跡は残らないけれど、私たちの関係が終わらないように、秋風に道案内をしてほしいものです」という歌を返した。

- エ 御門から、秋のものの寂しい季節と重ね合わせ、人生の残り時間の少なさや思うに任せない窮屈な立場を嘆く歌を詠みかけられた氏忠は、「唐を去った後は御門のことを知るすべもないけれど、秋には風のたよりでその消息を知ることができるでしょう」という歌を返した。

問八 傍線部⑦「三笠の山に」からは、氏忠のどのような心情が読み取れるか。安倍仲麿の「天の原ふりさけ見れば春日なる

三笠の山にいでし月かも」を参考に、三十字以上、四十字以内で答えよ。

問九 傍線部⑫「いづれに深き心ぞ」とあるが、これは氏忠のどのような状態について言っているものか。「いづれ」の具体的な内容を明らかにした上で、「状態」となるように、五十五字以上、六十字以内で答えよ。

著作者の権利保護のため掲載を省略

出典は『新釈漢文大系 唐宋八大家文読本 六』（明治書院）
ただし、表記を改めた箇所がある。

- 語注
- ※1 謝麟……宋代の官吏。
- ※2 絳制……管轄する。
- ※3 溪洞……中国南部に居住する少数民族。
- ※4 王奇……宋代の武人。
- ※5 君……孫立節。蘇軾の知人。
- ※6 被旨……皇帝の命を受ける。
- ※7 鞠……審理して取り調べる。
- ※8 按……調べる。
- ※9 獄……裁判。
- ※10 逗撓……停滞すること。
- ※11 刑部……尚書省所属の官署。

問一 傍線部①「且尽斬之」、⑤「何与焉」、⑥「而」の読みを、送り仮名も含めてすべてひらがなで答えよ。ただし現代仮名遣いとする。

問二 傍線部②「以語侵君」のここでの意味を、主語を補って簡潔に説明せよ。

問三 傍線部③「余人可尽戮乎」について、次の各問いに答えよ。

(1) この部分を書き下し文に改めよ。ただし、現代仮名遣いとする。

(2) 現代語訳せよ。

(3) 孫立節がこうに言う理由を「罪」という語を用いて二十五字以上、三十字以内で説明せよ。

問四 傍線部④「之」の指す内容を文中から五字で抜き出して答えよ。

問五 次の は、蘇軾が孔子の言葉を引用して、「剛」について述べたものである。これを読んで後の各問いに答えよ。

著作者の権利保護のため
掲載を省略

語注
※ 佞……口先がうまい者。

(1) 孔子は「剛」についてどのように捉えていたか。簡潔に説明せよ。

(2) この文章を参考に、孫立節がどのような人物であるかを具体的な行為に触れながら五十字以上、六十字以内で説明せよ。